

SEPTEMBER 2018

Newsletter from WA

Kae Takaoka



学校の正面

アメリカの新学年は9月スタートです。特に日本の入学式や始業式のようなフォーマルなものはありませんが、代わりに、新学年スタートの士気を高めるような賑やかな生徒集会がありました。華やかなチアリーディングに、大歓声の中の校長先生のスピーチなど「静」を貴ぶ日本の式典とは正反対の「動」の雰囲気の中、私も新着任としてスポットライトの下で紹介されました。



アメリカには校種を問わず必ずマスコットとスクールカラーがあります。こちらの学校のマスコットはライオンで、スクールカラーはオレンジと青です。学校の壁や体育館の椅子、食堂のテーブルなど全てにマスコットが描かれている様子は壮観です。中でも今年は「100% LION」を合言葉に何事も全力で活動しようというスローガンを掲げています。私もこれから始まるアメリカでの教員生活に100%で取り組めるよう頑張ります！



新着任の先生紹介

学校が始まってまず驚いたのは、毎日、時間割が全て同じだということです。取得単位数が日本と異なるという理由もあるでしょうが、授業時間が十分に確保されていることや毎日同じ生徒に授業で会える事はメリットです。これ以外にも制服やホームルームがなかったり、異なる事は数え切れませんが、これから少しずつ紹介して行きたいと思います。

HOME COMING IS REALLY A SCHOOL EVENT! / ダンスパーティーが学校行事!

9月末にホームカミングと呼ばれるダンスパーティーがありました。これは正式な学校行事で、夜の8時から11時まで開催されます。生徒は結婚式に出席するような装いで、どの子もドレスやスーツをため息が出るほど素敵に着こなしています。事前に各学年で人気投票があり、パーティーの当日にはKingとQueenが選ばれるなど、さながらテレビドラマのようでした。ホームカミングは友人と参加することもできますが、女の子をダンスの相手として誘う場合は男の子が女の子に花をおくるそうです。ダンスをしたり、美しく着飾って社交的な交流をしたり、これも立派なアメリカ文化なのですね。

